

2012年(平成24年)2月4日(土曜日)

トレッキング参加者アンケート

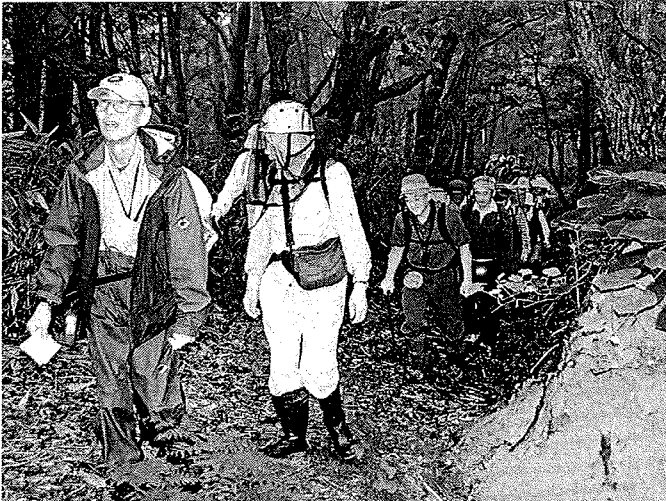
「地域振興に役立つ」「自然や歴史を実感」

増毛山道に高評価

年度内に活用法検討会

【増毛】江戸時代末期に開通した交易路「増毛山道」で昨年実施した体験トレッキングの参加者アンケート結果を留萌振興局がまとめた。「地域振興に役立つ」など好意的な意見が多数を占め、自然環境に加え、山道の歴史にも魅力を感じるとの声が多かった。同振興局は年度内にも、将来的な山道の活用法を考える検討会の設置を予定している。

(東久保逸夫)



昨年7月に開催された体験トレッキングで山道を歩く参加者たち

昨年7～10月に計4回実施したトレッキングの一般参加者38人から回答を得た。年齢は20～60代で50代以上が全体の8割近くを占め、全員が過去5年間に登山やトレッキングの経験があった。歩いた感想は全員が「楽しかった」と回答。「地域振興に役立つ」も全体の73%に達した。コースについては「歩きやすい」と「歩きづらい」がほぼ半々。歩きづらい理由は「刈り取ったササが滑る」などが多かった。一方、コースの整備状況について



増毛山道 1857年(安政4年)ごろに増毛町別荘一石狩市浜益区幌間(約27き)で開通。留萌や増毛がニシンの景気に沸いた明治後期には貴重な陸路として活用された。近年はササに埋もれた状態だった

が、NPO法人増毛山道の会がササを伐採。2009年に同町別荘一石狩市浜益区幌間の約16きを復元し、昨年には一般参加者も募って初の体験トレッキングを行った。同会は石狩までの山道の完全復元を目指している。

いては全員が肯定的な回答だった。景観については「素晴らしい」が25%にとどまり、「普通」が61%。同振興局は「雨の日が多く、山中で視界が開ける場所も少なかったため」とみる。

今後の利用希望は「歩きたい」が81%、「どちらとも言えない」が19%。利用したい理由(複数回答)は「トレッキングが好き」(57%)、「古道を歩きたい」(49%)、「駅通の跡など歴史を感じられる」(41%)、「豊かな自然を実感できる」(35%)の順。自然環境に加え、山道特有の歴史に魅せられた意見が多かった。

NPO法人増毛山道の会が目指す石狩市浜益区幌間までの山道の完全復元については「できるだけ早期に」と現行ルートの利用状況を見て判断すべきだ」がほぼ半々と意見が分かれた。

同振興局は今年も体験トレッキング開催を予定している。